

出射元気 | いでい・げんき |

ホソカワミクロン株式会社 粉体システム事業本部 大阪技術部 エンジニア



出射元気

2018年度
大学院工学科学研究科
博士前期課程
機械設計学専攻 修了



Fig.1——仕事中的様子



Fig.2——卒業式でロボコンチームメンバーと

大学時代における3つの重要な経験

私が京都工芸繊維大学に在学中、経験できてよかったと思うことは3つあります。それは、「学生ロボコン」「オルレアン/台湾への短期留学」「産学連携ものづくり実践」です。

学生ロボコンに参加したのは3年次の時でしたが、当時3年次から加入するのは異例で、経験の差も大きくNHKロボコンの設計に関わることはできませんでした。しかし、当時のチームリーダーの采配でキャチロボバトルコンテストや地域貢献イベントでのロボットの設計に関わらせてもらうことができました。チーム一丸となって取り組むロボコンチームに参加できたことは私にとっての青春です。

オルレアン/台湾への短期留学は私に海外への好奇心を抱かせてくれました。特に初めて参加したフランスのオルレアンでの経験は今でも忘れられません。当時、これまで英語を学んできたのに活かせる場面がないと悩んでいた私は、学内で「第一回オルレアン大学留学生募集」の貼り紙を見て強く惹かれ、参加を決めました。留学先では、現地の学生が取り組む小型ロボット製作授業にチームの一員として参加しました。専門的な内容を英語でやり取りすることは非常に難しかったですが、これ以上なく英語を話す/聞くという実践ができたと思います。ホストファミリーや現地学生と仲良くなったこと、オルレアンの文化や歴史に触れられたことも私にとっての宝です。

最後に「産学連携ものづくり実践」という授業への参加です。これは、さまざまな課程の学生が参加する授業で、企業から提示される実際の現場で起きている課題を、機械を開発して解決するというものです。企業課題であるため、設計や各種の計算には、通常の授業以上に精細に取り組みました。この授業の難しい点は分野の違う複数の課程の学生が参加しているため、知識や考え方に違いがあり、意見がぶつかることも多々あるところです。今考えれば、会社はいろいろな人が集まって仕事をする場所であるため、この授業は「会社に勤める」という認識をいち早く教えてくれた授業だと思っています。

お客さまが抱える粉体の課題を解決する

学生時代に参加した合同企業説明会で、今の会社と出会いました。入社を決めた一番の理由は、居心地の良さです。この会社のインターンシップは学生の質問になんでも正直に答えてくれる、それがインターンシップで一番印象に残っていることです。社員になって7年目の今も等身大の自分で働けていることが、その感覚が正しかったことの証明です。

業務内容は、弊社機器を中心としてお客さまのところへ粉体処理システムの設備を導入することです。弊社には粉砕・分級機や混合機、乾燥機といったさまざまなプロセスの機械があり、それらを組み合わせてお客さまの求める粉体を作ります。各プロセスでの計算や粉体特有の性質を理解した提案と実現は非常に難しいですが、事前にテストを実施、それをお客さまの必要な生産能力へスケールアップ、最後にお客さまの現場で無事に求められる粉体ができる時、お客さまからいただく「ありがとう」は何よりのやりがいです。

はじめは簡単な機械を担当し、今ではシステムを担当しています。また、海外のお客さまのところへも試運転という業務で伺っています。留学経験もここで活きてきました。これからまだまだ学び続けなくてはいけない仕事ですが、全身全霊をもって世の中の粉体問題に取り組めます。

何事にも積極的にチャレンジを

京都工芸繊維大学は、学問や研究だけでなく、社会に出てから必要となる、国を超えた人とのコミュニケーションや、いわゆる常識と言われる作法・礼儀を学ぶことのできる大学です。皆さんに必要なのは、何事にも積極的に取り組む姿勢です。それさえあれば、就職活動や社会人としてのスタートダッシュもうまくいきます。これからの社会を一緒に支えていきましょう。

在学中は興味を持って多様な学びにチャレンジ。
今に生きる知識、そして「社会人力」が磨かれた。